

日本共産党

中央区議団ニュース

2025年9・10月

発行／日本共産党中央区議会議員団
中央区築地1-1-1中央区議会内
TEL3546-5563 FAX3546-9570

ご意見ご要望をお寄せください。

中央区民アンケートにご協力ありがとうございました

日本共産党中央区議団 おぐり智恵子、奥村あきこ

日本共産党中央区議団は毎年、新聞折込や全戸配布により区民アンケートを実施しています。

今年3月に実施したアンケートの集計結果と寄せられた声をご報告します。

お寄せいただいた皆さんの声を区政に生かし、これからも頑張ります。

暮らしについて

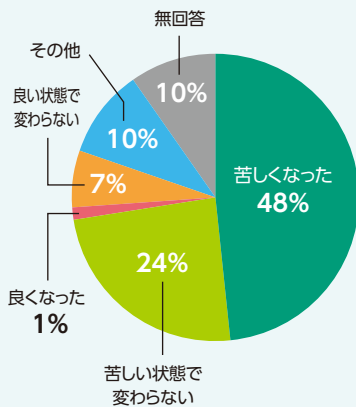
「この1年間で暮らし向きはどうなりましたか」では、①苦しくなった48%②苦しい状態で変わらない24%、合わせて72%でした。

「消費税について、どうお考えですか」の設問では、①下げるべき23%②生計費(食料品や水光熱費など)は非課税に37%③廃止すべき17%で、合わせて77%が減税を望んでいるという結果でした。

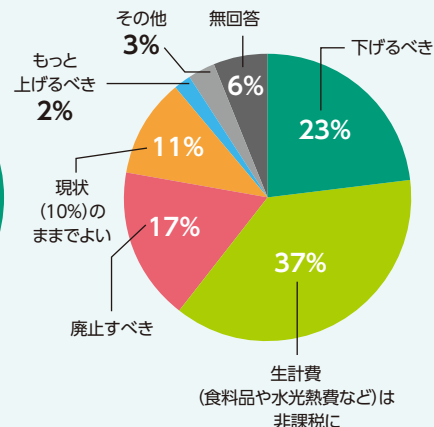
アンケートに寄せられた声より

- ▼米、野菜、肉、魚など値段が上がって困っています
- ▼生活が苦しい。若い人が希望を持てる社会にしてほしい。そうでないと高齢者の安心できる社会は無理だと思う
- ▼国の財源として消費税が欠かせないことは理解できない訳ではないが、これ以上の負担増は、食料品等の価格高騰を考えると無理

この1年間の暮らし向き



消費税について



物価高騰対策—消費税減税を

物価高騰対策として最も効果のあるのが、消費税減税です。日本共産党は、消費税の廃止をめざし、緊急に一律5%に引き下げること、財源は大企業への行き過ぎた減税(年11兆円)の見直しや富裕層に応分の負担を求める税制改革で、15兆円規模の財源を確保することを提案しています。

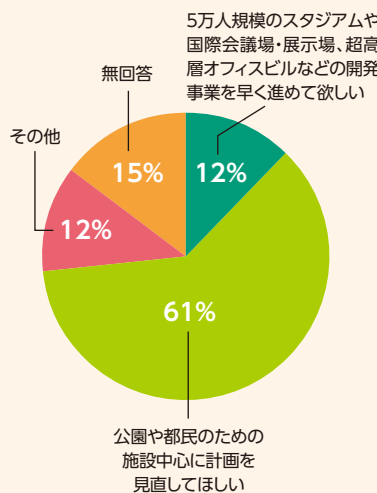
築地市場跡地の開発について

「三井不動産を中心に開発が進められようとしていますがお考えですか」という設問で、「公園や都民のための施設中心に計画を見直してほしい」が61%でした。

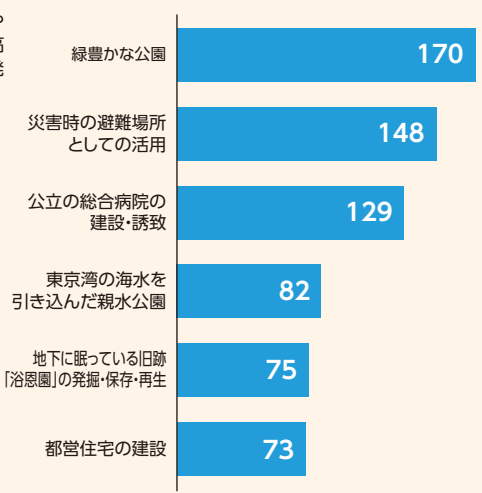
アンケートに寄せられた声より

- ▼国際会議場、展示場はもう充分足りている。…外国人や富裕層向きのものでない本物を扱う店の集まりとしてのまちを作してほしい
- ▼都有地を一部企業のための商業施設にすることは止めて
- ▼築地市場の歴史と東京湾の景観重視、混雑回避を基本原則にしてほしい

三井不動産中心の開発について



跡地活用で希望する項目(複数回答)



緑地・公園中心に見直しを

築地市場跡地の開発は、東京都が三井不動産他10社による「築地まちづくり株式会社」を事業者決定、8月に「築地地区まちづくり事業基本計画」を発表しました。

私たち区議団は、市場跡地に眠る旧跡「浴恩園」の保存、緑地や公園を中心とした開発にするよう、計画の見直しを求めています。



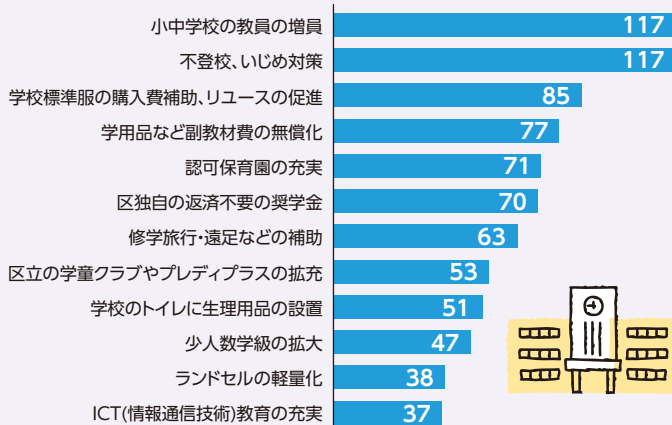
子育て、教育について

「子育て、教育について、必要と思うこと」の選択項目で、「小中学校の教員の増員」「不登校、いじめの対策」が同数で最も多い結果でした。タブレットなどを活用したICT教育については賛否が分かれました。

アンケートに寄せられた声より

- ▼私立学校に行く子どもが増えることは、教育制度全体から見てマイナスでは
- ▼出産費用控除はありがたいが、通院にも費用がかかり、子どもを産むのにお金がかかる
- ▼学校休業日の学童クラブを7時30分から開けてほしい
- ▼特別支援教室の充実を
- ▼不登校児の居場所づくりとフリースクールの推進を

子育て、教育について必要と思うこと(複数回答)



ゆきとどいた教育は教員増で

私たち区議団は、35人学級にとどまらず30人学級実施を区に要望し続けています。不登校やいじめに対応するためにも、長時間労働は正と処遇改善によって教員を増やすことが必要です。実現した学校給食の無償化に加え、書道セットなどの教材もレンタル制にするなどリユースをすすめ、教育負担を軽減するよう求めています。

議員紹介

奥村あきこ



- 企画総務委員会委員
- 子ども子育て・高齢者対策特別委員会 副委員長

【第一回定例会で質問】
(2025年2月28日)

1. 物価高騰対策について
2. 生活保護行政の改善について
3. 教員不足の解消について

おぐり智恵子



- 区民文教委員会 副委員長
- 築地等都市基盤対策特別委員会委員

【第二回定例会で質問】
(2025年6月26日)

1. 物価高騰対策について
2. 住宅問題について
3. 築地市場跡地開発について
4. 医療や介護の保険料・利用料の軽減について
5. 高齢者福祉の充実について
6. 子育て、教育について
7. 福祉センターの防災宿泊訓練について

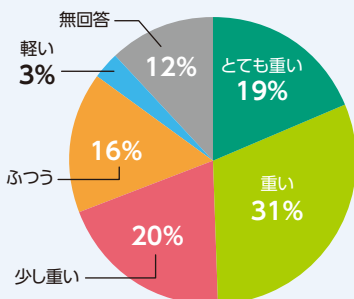
中央区議会HP
本会議録画
配信中



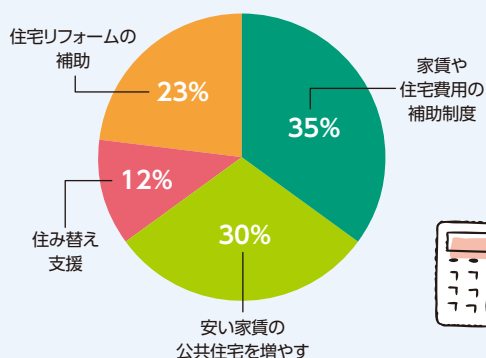
住宅費の負担について

「住宅に関する費用負担をどう感じていますか」の設問では、「住宅費の負担」がとても重い19%、重い31%、少し重い20%で合わせて70%をしめました。費用負担が重いのは①家賃②水光熱費③管理費④固定資産税⑤修繕積立金の順でした。

住宅の費用負担について



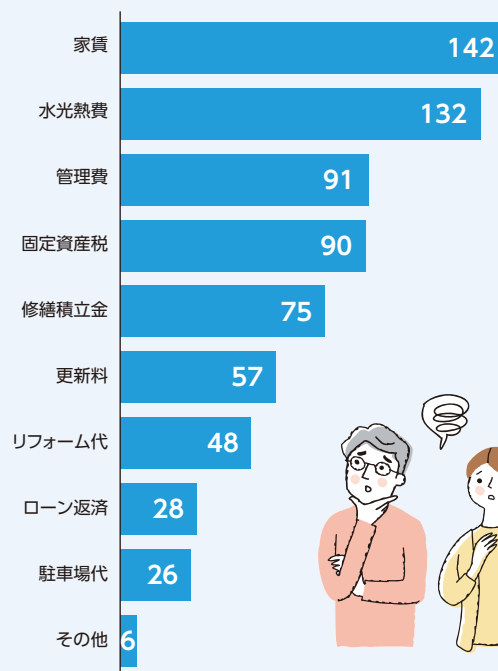
住宅関連費の軽減解決のために希望すること



アンケートに寄せられた声より

- ▼住宅の維持修繕費が多く貯金がなくなってしまう、固定資産税、火災保険料が負担となっています。家を処分して賃貸アパートに住み替えたいが年齢的にアパートを借りられないし年金では中央区に住めない
- ▼中央区は金持ちが住むまちになっていくようで、そうでない者はいつまで住んでいられるのか不安

住宅に関して負担が重いと思う項目(複数回答)



家賃補助や公共住宅の増設で住みつづけられるまちへ

私たち区議団は、周辺地域での家賃高騰にもつながる市街地再開発優先のまちづくりを見直し、転売目的の投機マネーの規制や課税強化をするよう区に求めています。
また、都営住宅や区営住宅の増設、家賃補助制度の創設など住み続けられるまちとしていく提案を行なっています。



中央区に望むこと

「中央区にもっと力を入れてほしいこと」の設問で、一番多かったのは、国保などの保険料軽減でした。

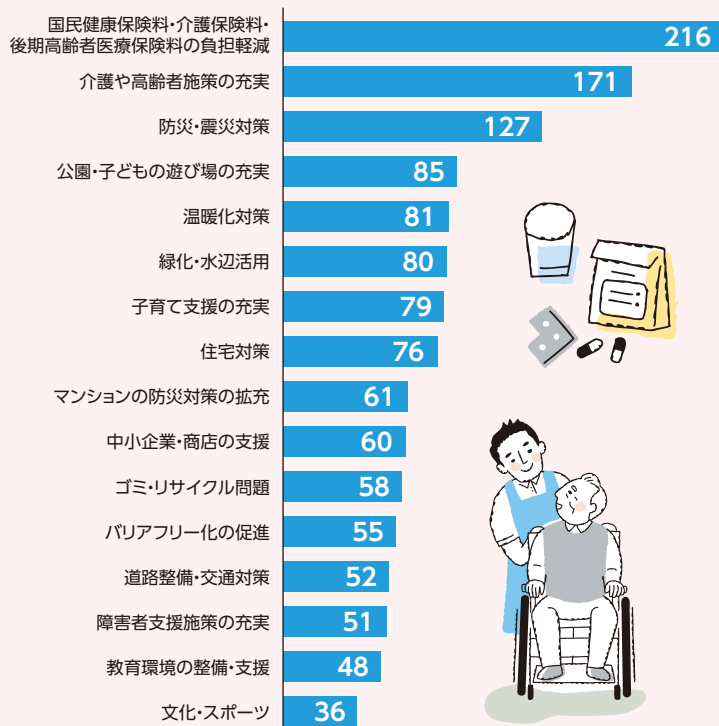
アンケートに寄せられた声より

- ▼後期高齢者医療保険料改訂により家族(母親)の保険料負担が増え、また通院の医療費、薬代も2割負担でこれまでの2倍になり大きい負担となっている
- ▼年金が少ないから働いていますが在職老齢年金制度で厚生年金がでない。介護保険料、税金はたっぷり取られ苦しい

医療や介護の保険料・利用料の軽減を

私たち区議団は、国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険に対する国や東京都からの拠出を増やし、保険財政を支えるよう求めています。
また、区の財政支援も増やして、保険料、利用料の負担軽減をはかるよう求めています。

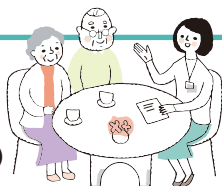
中央区にもっと力を入れてもらいたいこと(複数回答)



なんでも

生活相談

3551-6820(中央地区委員会)
3546-5563(区議団控室)
区議団メールアドレス kugidan_chuo21nowar@jcpchuo-kugidan.jp



無料

法律相談

毎月第3火曜日3時から
要予約 連絡先は生活相談と同じです

